

# 施策評価シート（平成29年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	5-2	政策名	持続可能で健全な 財政運営	政策の 目指す姿	財政を健全に維持しています	施策 主管課	契約管財課	施策主管 課長名	小原 有二
	施策No.	3	施策名	市有財産の適正な 管理	施策の 目指す姿	市有財産が良好に維持管理 されています	関係課名			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大量の市有財産の効率的な管理や有効活用を推進するためには、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化等を計画し、財政負担の軽減・平準化を図る必要があります。</li> <li>・未利用市有財産について、遊休土地の貸付や売却を進めるなど有効活用を図る必要があります。</li> <li>・市有林について、適正な保全管理と有効活用を図っていく必要があります。</li> </ul>								

## ◎ 前年度の評価の振り返り

### （前年度評価時の今後の方向性）

・平成30年度までに第1次花巻市公共施設マネジメント計画（実施計画編）を策定し、平成31年度から5年間に実施する建替えや大規模改修、統廃合などの取組みを具体的に定めることとしている。  
また、実施計画編は5年ごとに策定するものであり、5年ごと40年間に順次、計画を策定して管理を行っていく。

### （反映状況）

・花巻市公共施設マネジメント計画【実施計画編】策定に向けて、アドバイザーをお願いした東北大学大学院教授、岩手県立大学教授との協議、また、有識者として早稲田大学教授との協議も行いながら、庁内部長会議・担当者説明会・施設所管課との意見交換会等、計画策定に向けての協議や情報共有等を進め、平成30年度に行う計画策定の考え方について整理し方針案を作成したほか、平成30年3月に「花巻市建物施設保全方針」を策定した。

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

### （1）花巻市公共施設マネジメント計画の推進

#### ○花巻市公共施設マネジメント計画（実施計画編）の策定及び推進

・部長会議、担当者説明会、施設所管課との意見交換会等、計画策定に向けての協議や情報共有等を進め、平成30年度に行う計画策定の考え方について整理し方針案を作成したほか、平成30年3月に「花巻市建物施設保全方針」を策定した。

### （2）市有財産の有効活用

#### ○未利用市有財産の売却等、有効活用の促進

・市有地（宅地）公募件数7か所のうち、3か所を売却した。（828.58㎡ 16,201,000円）

#### ○庁舎改修計画に基づく照明設備等の改修

・本庁本館照明設備（1階、地下1階）のLED化を行った。（既存蛍光灯496灯中、379灯交換117灯撤去 37,999千円）

・石鳥谷総合支所エレベーターの全面改修を行った。（1基 23,682,000円）

#### ○市有林の適正な保全管理、有効活用の検討

・花巻市分収造林設定条例に基づき設定した分収造林内の立木が売却（杉等9,907本、返地約6ha）され、収益の分収があった。（国2：市8  
→市1.25：委託先8.75 市分収益870,480円）

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
/				目標値						
				実績値						
/				目標値						
				実績値						
/				目標値						
				実績値						

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
/	

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結度	
1-1	市有財産適正管理事業	契約管財課	一致	直結	A
	花巻市公共施設マネジメント計画(実施計画編)の策定および推進 (計画策定の考え方に係る方針案の作成、花巻市建物施設保全方針の策定)		A		
1-2	市有財産適正管理事業	契約管財課	一致	直結	A
	未利用市有財産の売却等、有効活用の推進 (3か所売却 828.58㎡ 16,201,000円)		A		
2	庁舎設備等改修事業	契約管財課	一致	直結	B
	・本庁本館照明設備(1階、地下1階)のLED化。(496灯中、379灯交換117灯撤去 37,998千円) ・石鳥谷総合支所エレベーターの全面改修。(1基 23,682,000円)		A		

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか) ・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか) ・なし</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか) ・なし</p>
--

6 施策の総合的な評価

<p>(課題) ・市有財産適正管理事業のうち、花巻市公共施設マネジメント計画(実施計画編)について、平成30年度内の策定を目指して作業を行っているが、各省庁から示された計画策定指針等により、用途ごとに策定する個別施設計画の策定状況や花巻市まちづくり総合計画、新市建設計画などの長期計画、財政見直し等との調整を図りながらまとめる必要がある。</p> <p>(今後の方向性) ・実施計画編策定に関わる部長会議のほか、契約管財課・財政課・秘書政策課合同での担当者説明会を開催する等、部・課を横断した取り組みを行っており、今後、契約管財課が作成する「施設の方針(案)」に基づき、施設所管課において施設の点検や保全計画の作成を進め、平成31年度当初予算の維持保全経費の調整・要求を行う。また、総合計画第2期中期プラン等の投資(ハード事業)計画との事業調整を図り、長寿命化を行う施設については、契約管財課が劣化調査を実施した上で、実施計画編に掲載する事業について検討を行う。</p>
---